

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	いわさき・こどもデイサービス		公表日 2025年 3月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・子ども5人に対して職員が常時3人なので、障害の度合いにもよるが手厚く配置されている。	・足りているが、職員が休むと足りないと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・室内は必要な時に必要な物が出てくるよう普段は収納されている。 ・毎日清掃を行なっている。 ・掃除が丁寧に行われている。	・正面玄関は飾りが多く感じる。靴の脱ぎ履き時に目を奪われてしまっている子どもがいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・必要に応じてパーティションで部屋を仕切っている。 ・みんなの部屋などいつも違う部屋で遊びながら楽しく延長の時間を過ごすことができている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・朝のミーティングと夕方のカンファレンスには、その日出勤した全員が参加できる時間帯に行っている。 ・毎日の振り返りで、さらにこうすると良いかもという意見を貰えることで、支援の質が高まっていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・職員会議にて共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/		・第三者評価は受けていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・降園時間を早めたり、勤務を調整したりして時間を確保している。	・レポートを書く時間が負担となり、研修への参加に積極的になれない時がある。 ・サービス提供時間内の研修は、5人の子どもを2人の職員で見ると難しい環境が生まれることがある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	・日々、こどもたちの様子を共有しながら、支援計画に反映するように努めている。	・支援計画を作成するための検討時間をもっとしっかりとれるとよい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・児童発達支援計画を毎日の記録を書くファイルに挟んでおく事で確認できている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・細かい内容や、個別の対応はクラス担任で話し合って決めている。 ・活動のねらいに沿った活動の内容を考え工夫している ・主の職員が考えた活動内容を、同じクラス内で共有することで、さらに良い支援方法が聴ける時がある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・年齢や情緒の状況によって活動内容が変えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝のミーティングなどで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・振り返りのカンファレンスを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・保護者を通して医療機関と情報共有している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・併行通園は実施していないが、保育所等への移行が決まったお子さんについて、移行先の園と情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・就学先に出向いて引継ぎを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4	・児童発達支援センターと、随時連絡を取り合える官営を築いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・園遊会など法人の行事を通して他の子どもと触れ合うことが出来ている。	・個別での交流はあるが、プログラムとしては実施していない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・登園時、降園時、連絡帳などで伝えあっている。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に丁寧に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・家庭訪問、保護者会を通して行なっている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・朝や帰りの時間に話すことで、不安に思っていることや困り事などを聞き出すよう工夫している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・保護者茶話会や、季節の行事（一部）に兄弟児も参加できる場を作っている。 ・茶話会など定期的で開催している。	

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・季節ごとにおたよりを発行している。	・HPでのお知らせがタイムリーにできるとよい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・事前に確認した個人情報取り扱いをもとに、度々確認を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・緊急時に一斉連絡ができる方法を今年度より新たに取り入れた。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		・避難訓練などは、実際におこったことを想定できるとさらに良くなると思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・状況が変わった時はその都度確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・現在、制限が必要な食物アレルギーのあるお子さんはいませんが、在籍時には指示書にそって食事を提供していた。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		・安全計画はあるものの、見直しが必要な部分がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		・安全計画はあるものの、家族への周知が不十分と感じる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・法人の虐待防止委員会、事業所会議で共有し事故につながらないよう周知している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・研修を受けている。 ・法人内の全職員が、毎月チェックリストに回答して自分の支援を振り返る機会としている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2	・職員は身体拘束の研修を受けている。 ・現在、対象となるお子さんはいないが、対象となりうる状況が発生した時にはすぐに記録に残せるよう準備を整えている。		